

平成29年度 行政評価事業別シート

実計対象		☐	評価対象	☒	新規	☐	完了事業	☐	ゼロ予算事業	☐	担当者	荒井 一樹
全体計画						経費区分	—			内線	3628	
事務事業名		4324 生涯スポーツ事業										
所 属		130500 市民共創部・生涯学習スポーツ課										
施 策		04022000 スポーツ活動の充実										
予算 科目	会計	01 一般会計										
	科目	100703 教育費・保健体育費・体育振興費										
	事業	020000 生涯スポーツ事業										
事業目的						事業概要・効果						
市民の誰もがライフステージに応じたスポーツ活動に親しみ、健康の増進や豊かなスポーツライフの実現を図る。						学校開放や各種大会・行事の主催し、各種スポーツの普及発展と市民の交流、健康増進・相互の親睦、生涯スポーツを推進する。 ニュースポーツの大会を新たに開催し、スポーツ人口の増加につなげる。 子ども向けスポーツ教室を引き続き体育協会に委託する。 東京オリンピックのホストタウンとして中国との交流を推進するため、卓球交歓大会に友好都市四平市との合同チームを派遣する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付した。海の家負担金事業は、今年度で廃止することとした。	地域別スポーツ教室の開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。新たに冬季スポーツの振興を図るため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
ニュースポーツ普及のためのイベント開催、学校開放の実施、各種大会等を主催し、全国大会出場者に激励金を交付する。冬季スポーツの振興のため、峰の原スキー場の利用料負担事業を行う。 日中友好都市卓球交歓大会に選手団を派遣する。	
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指 標 名	地域別スポーツ教室				
算 式	参加者数				単位 人
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標 400			550	600
	実 績 363				
指標選定の理由	地域別にニュースポーツ教室を開催し、気軽にスポーツに親しみ、健康増進につなげる。				
最終年度 目標の根拠	平成26年度実績値の約40%増				
指 標 名	竜の里須坂健康マラソン				
算 式	申込者数				単位 人
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標 3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
	実 績 2,355				
指標選定の理由	日頃から健康増進のためウォーキングをしている市民、ランニングをしている市民の増加につながる				
最終年度 目標の根拠	平成26年実績値約2割増				
指 標 名	スポーツリーダーバンク				
算 式	登録者数				単位 人
年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目 標 値	目 標 35	36	37	38	40
	実 績 29				
指標選定の理由	地域のスポーツ推進のリーダー・指導者の確保、育成				
最終年度 目標の根拠	ニュースポーツや各種大会等への指導者派遣要請に応えられる人数				

事業費

(単位：千円)

		平成28年度 決 算	平成29年度 予 算
事業費		26,025	29,818
特 定 財 源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,264	1,721
一般財源		24,761	28,097
人 員 数 (人)	正規職員	2.6	2.5
	嘱託職員	1.0	1.0
	臨時職員	0.5	0.2
人 員 コスト	正規職員	18,769.4	18,047.5
	嘱託職員	2,755.0	2,755.0
	臨時職員	571.5	228.6
	計	22,095.9	21,031.1
市民一人当たりの経費		0.9	1.0
総額		48,120.9	50,849.1

(単位：千円)

平成28年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,530	スポーツ教室指導者謝礼、市主催大会役員謝礼等 1,246 全国大会出場激励金 284
11節 需用費	999	大会・行事消耗品 669、印刷製本費 150 など
13節 委託費	700	子ども向けスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	22,345	須高行政事務組合負担金(プール)17,455、竜の里マラソン負担金 3,600 峰の原高原スキー場リフト負担金 1,290
その他	451	郵便料32、清掃用具借上154、備品購入190 ほか

(単位：千円)

平成29年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	1,613	スポーツ教室等指導者謝礼 1,283 全国大会参加者激励金 330
11節 需用費	1,203	大会・行事等消耗品 682、印刷製本費 190 など
13節 委託費	1,150	子ども向けスポーツ教室委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	24,379	須高行政事務組合教育費負担金(プール)18,019、竜の里マラソン負担金 3,600、峰の原スキー場リフト負担金 1,820、日中卓球交歓大会 940
その他	1,473	旅費452、保険料140、借上料446 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	・市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか ・行政内部の管理運営上必要な事業であるか ・市が主体となり実施すべき事業か ・法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか ・目的は結果(施策の目指す理想)に結びついているか	普通
評価コメント	市民がスポーツが持つ楽しさを体験し、健康で過ごせるようスポーツに親しむ機会を提供する。	
有効性	・事業の成果は上がっているか ・目標に対する達成度は十分か ・市民生活上の課題解決に貢献しているか ・行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか ・事業の目的が達成できるような事業内容になっているか	普通
評価コメント	ニュースポーツは定着しつつある。	
効率性	・成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか ・効率性向上に努めているか ・使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか	やや悪化
評価コメント	峰の原スキー場リフト負担金事業が市単独事業となった。	

振り返り(決算年度の取組み課題)

子ども向けスポーツ教室の委託、負担金事業により、市民がスポーツに取組むきっかけや機体の提供ができた。

ACTION**1次評価**

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント	
ハーフマラソン導入に向け準備を進める。 ニュースポーツ普及の方法を検討する。	

2次評価

次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
2次評価コメント	
30年度ハーフマラソン導入に向けた準備が予定どおり進められた。また、ニュースポーツについては、より市民への周知浸透を図っていく方策を検討する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	